大正二年二月十日第三種郵便物認可

第四四七號

大正十年九月十二日 毎月曜日發行

Vol. VII. No. 447. THE SHANGHAI, JAPANESE WEEKLY

發行所 春申社
上海嵐山路〇八號
電話北二八五七
振替口座福岡四七〇五番

▲目次

□社論 支那文化力と外人 一
□礒々錄 一
□週間要報 二
盧山會議又流產歟 二
青島還附問題 三
孫文の日本攻擊宣言 四
□上海報界の過去及現在（三） 四
□支那法律と禮（一） 七
□支那時事日誌 七
□雜報（其他） 八
□漢字新聞論調 八
□金融市況 八
□〇八私人 十
十一

支那文化力と外人

吾人は前號を以て支那國民の視聽力と忍耐力の本は支那文化に在り、目を之に注ぐべしと云ひ、中外人士を喚起せんと欲したる如く支那時局が日に非にして、到底尋常事を以て之を解決すべからざる事實也之を意識せる一般社會は、最早や問題は歸する所世道人心に在りと慢悟せざるを得ざることゝなれり、即ち支那固有の文化に本づかざれば、億萬の解決策を說くも皆空言にして、實際に觸る能はらざるものとして、自然人心をして本に反らしむるの傾向を與へたり、此傾向は吾人の接觸せる支那人士の均しく語る所なるが、穩健なる謂はゆ中立派とも稱すべき申報も、亦社論を以て此世道人心に論及したり即ち其大要に曰く

孟子曰く城鄧完からず甲兵多からざれども、國の災にはあらざるなり、田野圃が芋對案まらざれども、國の害にはあらざるなり上に禮なく下に學なければ民を賊し義を興す日なしと、管子曰く禮義羞恥は是れ四維なり四維張らざれば國乃ち滅亡すと、此二者は皆老生所謂老者は見れども生せず、常談者は見れども談ぜず、……世人は今日の時世を五代に比するも、五代の時にも南唐後蜀の文化ありかも朱子は之を評して奢業で壞敗とせり、然らば今日の壞敗は固より五代より甚だし、更らに上海に就て見ろ日約を尙び形式を尙ばず、商業道德を以て世界に稱せられたる我國の災にはあらざるか、田野圃が芋對案まらざれども、國の害にはあらざるか、上に禮なく下に學なければ民を賊し義を興す日なしと、管子曰く禮義羞恥は是れ四維なり四維張らざれば國乃ち滅亡すと、此二者は皆老生所謂老者は見れども生せず、常談者は見れども談ぜず、……世人は今日の時世を五代に比するも、五代の時にも南唐後蜀の文化ありかも朱子は之を評して奢業で壞敗とせり、然らば今日の壞敗は固より五代より甚だし、更らに上海に就て見ろ日約を尙び形式を尙ばず、商業道德を以て世界に稱せられたる我國の災にはあらざるか、今や又反して形式を尙び日約を尙ばず信用自に落つる投機融力の爲め逃亡するもの十餘案に云ふ、此社會狀況の爲め逃亡するもの十餘案に云ふ、此社會狀況の爲め逃亡するもの十餘案に云ふ、此社會狀況

週間要報

廬山會議又流產歟

▲國民大會の往事▼

（一）

廬山會議は吳佩孚の主動にあらず吳佩孚と張紹曾張一麐等官僚式政客との一夕談が遂に張によりて通電せられたるものにして、吳自身は與からずと傳へたれども、同穴の狐たるは疑ふべからず、其急に爾かく報道せらるゝに至りしは全く形勢頓みに變化し、實行すべからざる事情出來したる爲めに外ならざるなり、其張の主動たると吳の主動たるとを問はず、支那に於ける各方面の心理は散沙の如く已れに都合惡しきことあれば、必ず種々の方法を以て之を破壞せんとするものあり、意見多くして紛爭を惹起するが當然なれば、廬山會議なるものゝ發表の預想せられたる時、已に此會議は無形の中に消滅せられ、吳が安直兩派戰爭後に於て主張せし國民大會の往事と同じく般鑒遠からずと思はしめたりしが、果して昨今に於ける廬山會議なるものは甚だしく不評判となり、奉天派も南方の孫文派も將た上海に於ける學生團も何れも反對にして、吳佩孚の親分たる曹錕猶且つ反對なりと報せらるゝ最も曹錕と吳の間は預じめ諒解ありしに相違なければ或は一の芝居なりしやも知るべからず、要するにヨシ廬山會議が成立したりとするも、十四個條を以て國軍會議の議案に對し、國民會議が果して之に同意を與へるか、又國民會議の議案が果して國軍會議の同意を得べきか、此間の障害問題はすして知るべく、何等時局解決とはならずして、紛擾熱鬧の現象を呈するが落ち也、故に廬山會議は問題とするに足らざるなり

（二）

然れども同會議に對する主動者として張紹曾の發表せる第十四個條の內容は示さゝるべからず、張一麐が內容は示さゝるべからず、張一麐が又之に對する反對事も紹介せざるべからず、而して此間に於ける魂膽の在る所亦窺はざるべからず、先づ張紹曾の二日附通電を紹介すれば左の如し

兩湖問題以來統一の希望愈遠く、友邦の觀聽之に集まりたり、光榮ある軍人は一變して傀儡の登場となり四億萬の生命財產は一變して政客の魚肉となる、國已に國たらず、而かも甲は統一必ず我によりて成ると云ひ乙は改革は必ず我意を遂ぐるに在りと云ふ、一は專制に近く、一は獨裁に近し和平の障害となるは一なり、此時に當りて太平洋會議は前に在り列國共同監政は眉睫に迫まる、全國民は神州の陸沈に甘んずるか、全國軍民に自決の機會と一大決心を促がせり、此際米國十三州會議に倣ひ、國是會議を廬山に開き、已往の紛爭を解き目前の戰亂を消し、建設の程序とせざるべからず、謹んで草案十四個條を擬して左に列擧せん

（一）本會を廬山國是會議と稱し、廬山に開催す

（二）本會の議決せるものは神聖にして犯すべからず

（三）廬山國是を會議を左の二者に分つ

（甲）國民會議、各省議會及び各法團聯合會公推の全權代表三人にして代表委任狀を有する者及び蒙青の代表各一名を以て組織し法律問題の解決に當り統一政府を組織す

（乙）國軍會議各省區軍事長官にして代表委任狀を有する者三名（但し巡閱使を置く省區は巡閱使と督軍の協議により定む）及び海軍全體公推代表にして委任狀を有する者六名及び中央各師旅公推の代表にして委任狀を有する者六名を以て組織し、軍備の制限、裁兵の方法等を議決す

（四）國軍會議にて議決せる案件は國民會議を通過せる後始めて有効となるものにて、同會議にて否決されたる場合は再び理由を附して提出するを得べく、否決二回に及べば原案の修正を要す

（五）國軍會議より一名を推して國民會議に列席せしむ、但し會內一切の會議事項に干渉せず

（六）世界大勢の關係より此會議を太平洋會議開會前に組織す

（七）太平洋會議の支那全權代表は國民會議より推定す

（八）軍民兩會議にて議決の件は均しく國民大會より宣布實行す

（九）大會議は各代表過半數の同意を得たる後集會す

（十）議事案件は出席代表過半數の可決により法律案となる

（十一）大會議に關する一切の準備は所在地長官その任に當る

（十二）會內の經費は各省區の負擔とす

（十三）以上にて明記せざる條項は開會後大會に於て之れを修正補足す

（十四）本公約は大會に於て過半數の可決を經て法律案となる以上陳ぶる所は個人の愚見に過ぎざるも、危急存亡の際なるを以て之れを發表せるものなり云々

張紹曾は辛亥革命前燮州より時の清室に對し、十九個條の虛君的憲法案を呈して、時局解決案を呈し、却りて之が因となりて清朝を滅亡せしめたる人物なり今又彼は十四個條を世に發表して時局解決を求めたるが、事實支那の各方面は當時と比擬すべからず、清朝の有無にあらず、國を列國共同監政するも、尙ほ自己の私見は述べ、私利は圖らざるべからずと云ふ程腐敗し、今の各方面は長髮賊亂末年に於ける如く、何れも居り合ふて俱に傷かざるべからざる運命に在るを以て、張の通電は何等の影響を蒙るべからず、況んや此會議が吳佩孚等の芝居的にして眞摯を缺くものなるに於てをや

然り而して張紹曾の通電發表の翌日漢口に着し武岳の間を往來せし張一麐は廬山會議に對する各方面の賛同を求むるの通電を發したり、其內容は左の如し

共和十年現象は愈非なり專制獨裁の流毒に染み生命財產を犧牲とし外人は全世界和平の種子は即ち東亞にありとす我國は統一されざる國に在らず、統一せざる特殊勢力の一部分が己の欲せざる所之を人に施し人權を剝奪するに在り、余は岳陽に來るや適々廬山會議の風說あり吳將軍は嫌ひを挑くるの故を以て張紹曾君より發起するこゝなり自身は賛成通電を發せり國民の前途は此の一擧にあり、公等に互助の精神を以て會議の成立を求めんことを望む草案に對しては漸時批評を差加へ大會を俟て修正の餘地あり從前の南北畛誠黨派異同は昨日の死の如くにせば今後は同憲を制定し大局の解決は今日より吳佩孚も大いに得意の色ありしも曹錕よりも此際政客の爲めに飜弄さるる誰か人心量からん何を忍びて意氣の爭ひを以てして座ながら齊割を待たんや

（三）

廬山會議に就ては五日の漢口電報は報じて曰く

昨今世間に傳說さゝる所謂廬山會議一名國是會議は吳佩孚と張紹曾との一席話に始まれるものを廣大に宣傳されしものにして曩に吳佩孚が主張せる國民會議と同一なりと然し彼等が之を以て南北輿論の趨向を知らんとするものゝ如く五月二日岳州會議の結果直に南北各要人に通電し其の意見を徵したる由然るに之に對し各方面より賛否の電報あり張作霖は和平統一問題は中央政府既に命令を以て發表せるものにて今別に之を討論せんとするは重複の嫌ひありとて極端に反對し廣東政府は之を以て直隸派軍人と研究派政客が時局を壟斷せんとする計畫に過ぎずとして不賛成を表示したり唯之に賛成せしは江西の陳光遠と湖南の趙恆惕及び直隸派の重要軍人のみなりしと、又同日の北京電報は報じて曰く直隸某要人曰く最近曹錕が總統たらんとする野心ありと言ふは全く反對派の流布せる謠言なり曹は廬山會議に就き斬總理張作霖と打合の上吳佩孚に宛今日國狀は今直斯にかる大事業を爲し能はざるを以て輕擧する勿れと打電したれば吳は暫く國是會議の主張を捨て兵力を以て兩湖に於る基礎の樹立に努むべしと更らに六日の北京電報は報じて曰く廬山國是會議の發表以來南北の政客陸續來漢し武漢及岳州の間を往來するも甚だ多く張紹曾張一麐等之が操縱に專ら任じ居り吳佩孚も大いに得意の色ありしも曹錕よりも此際政客の爲めに飜弄さるる勿れと勸告し來り爲めに吳佩孚も

石鹼　製紙　電銅　電子　鑛物分析　鑛物話　調査

一九二〇二九六四〇三三五六

三菱公司
三菱鑛物分析所
上海廣東路九號

上海出帆
郵船棧橋ヨリ發
鳳陽丸　南陽丸
襄陽丸　岳陽丸
瑞陽丸　大福丸
大貞丸　大利丸
浦東棧橋ヨリ發
電話（輸出宿直）一三四五
（輸入庶務）一三二五九
（船客）四七六
電話（浦東棧橋）四七四
（監督）一八七四

上海支店
上海廣東路十四號及十六號
漢口宜昌線　一ヶ月六回
漢口湘潭線　一週二回
漢口常德線　一週二回
九江南昌線　一週三回

日清汽船株式會社

邊に態度を一變せんとするもの、如し之が爲め張一麐は昨夜上海に向ひ各方面と意思疏通を計る筈なりと又更らに民國日報の所報によれば、研究系が暗中飛躍しつゝあるもの、如く、軍閥擁戴支那宰制の盧山會議の主動者は研究會なるが上海の信ずべき消息によれば張紹曾張一麐の兩電發表後開業は上海に於て活動に從事し前昨兩日蔣方震張一麐先後して上海に着したるが兩人は吳佩孚が日本人に向つて議訂する電話借款の使命を携へ居り此の借款は盧山會議に用ふるものにて六日蔣張等は佛租界同益里張東蓀宅にて會議を開かんとせるが人佛租界警察にては屆け出でなし居らざりし爲め干渉したるを以て結果無して散會したり按するに盧山會議の民意を假借せるものなることは多數有識者の看破せる所にて研究系は平日縣教育運動、文化運動を爲し、密かに軍閥と結緣し支那の亂階を作るものなり國人は宜しく之を監視すべしと報せり、何れにしても張一麐とが江蘇なる故に、江蘇の名士張謇も亦三日通電を發し、北京廣東湖南湖北に對し、太平洋會議前に扣へたる今日互に爭ふべき場合にあらざる旨を說きたるが、皆直派の行動にして研究系政學會の之に加入して活動し、孫文派の活動を預防しつゝあるは事實なり、蓋し政學會派も研究系も共に國民黨とは犬猿も啻ならざればなり

（四）

然るに盧山會議に對し、正々堂々と反對するものは、先づ當地民黨系に屬する學生連によりて叫ばれたる言議にして、彼等は民意を强姦せる梟雄袁世凱の如きも既に六年前に失敗せり歐戰結束以來新潮瀰漫し國民の眞僞を辨別する能力は日に進歩を形はせり吳佩孚は何んぞ能く假面具を以て人を欺かんや貴下は媚を吳氏に取らんと欲し甘んじて天下の大不韙を冒す楊度の覆轍殷鑑とすべし本會は盧山會議に對して既に四日通電したる別に陳奏を行ふ急音を擇ばず前日の電文及議員の態度に關する廣東電報によりて窺知すべきなり

六日發の孫文伍廷芳の北伐主張に關する電文及議員の態度に關する廣東電報によりて窺知すべきなり

三日孫文は陸海軍將校約三百名を總統府に請待し伍廷芳、林森、徐謙其他民黨の幹部出席せり席上孫文の演說に曰く廣東は廣西を討伐したるも再び他に强敵を迎へたり即ち吳佩孚は今回大軍を率ひて湖南に侵入し廣東を脅かす故に北方軍隊を擊破するに非ざれば眞の平和眞の統一は期す可からず北軍何ぞ懼るゝに足らん彼等は內訌甚だしく兩廣交戰前の廣西軍に比し組織實力共に薄弱なり云々

次で伍廷芳論じて曰く

廣東政府は約束を嚴守し現に約束通り廣西を陸譚の手より奪ひて之を廣西民の手に還したり故に各省々民は何れも廣東政府を信用し居れり今や吳佩孚は湖南に入り南方を脅かさんとす彼は二年前廣東政府より軍費四十萬元を受けて北方軍隊と交戰し今次北京政府より八十萬元の供給を得て南方軍隊と戰ひつゝありて無主義無節操の動物なり此の動物を擊碎するは諸君の任務なり

云々として其他吳佩孚の罪狀北伐の必要を論じたる者數名に及べり

周震鱗以下三十六名の議員は廣東政府に對し北伐建議案を提出せり其の內容左の如し

一、廣西軍事終熄したれば戰勝の軍隊を廻して武漢に進出すべし

二、徐世昌非法政府を組織し南方が北伐の遑無きに乘じ近時佛國より三億フランの借款を爲し更に日本と借款契約を結ばんとしつゝあり速に北伐命令を下さざれば益外人をして非法政府に對し誤信を深からしむるに至らん

三、湖南は兩廣の門戶なり北軍既に門戶に迫る傍觀して止む可らず吳佩孚は優勢なる陸海軍を以て南下し湖南軍は孤立無援の悲境に在り速かに徐世昌、靳雲鵬吳佩孚、曹錕等の不法を宣布すべし

四、李烈鈞を江西より廣東軍を湖南より四川軍を宜昌より進めて師を武漢に會すべし

かゝる報道あり、由來國民代表會議主張に對し、熱心に努力し來りし舊政學會派新聞中華新聞も大に懊惱し、八日の社論を以て武力解決主張者に告ぐと題し、太平洋會議前に於て一種の解決法たる會議も此に至り愈失望せり、祖先數千年の基業を斷ち、且つ子孫數代の禍根を殘すは餘りに殘忍にあらずや涕を垂らして之を哀しむと云はしめたり

（四）

要するに盧山會議は、最早今日となりては、張紹曾が其唯一の責任者たることを通告せらるゝに至れり、而して政府は盧山會議が一般の贊同なきと軍界主要連が同會議を以て國內の現紛擾を增大せしむるものなりと認め、沈默裏に反對居れるが爲め、之を進捗せしめざることに決定せり、然れども政府は自治政の組織及中央と地方の權限を明白に區別すべく相當に胡魔化しは上手なりと云ふべく、盧山會議は冒頭にも云へる如く、何れの方面より云ふも問題にあらざるなり、然れども研究系の如き一派は此始末に對して如何なる態度に出づるか此點は攪亂屋の彼等の態度として、亂の由りて出づる所即ち喧囂の由りて出づる所として、又留意せざるべからざるなり

●太平洋會代表問題

▼廣東政府北政府否認▼

本月五日北京政府は各部より纏めたる報告によりて閣議を開き擬案を議せるが、大略準備成れりと傳へらるゝも、代表問題に至りて廣東との協調全く絕へたり、之より先き在天津の廣東人は廣東政府に對し手を盡して協定を申込みたるも詮なく、又政府は吳佩孚に對し代表問題に就き意見を徵するに至りしも、更らに要領を得ず困却し始めたる時、本月五日北方太平洋會議代表に對する孫文の否認宣言は總統令を以て發表せられたり、即ち左の如し

歐戰終りを告げ太平洋遠東は世界各國注意の焦點となり米國大統領は華盛頓會議を發起し以て太平洋及び遠東各問題を解決せんと計り我國にも會議に預からん事を要求し來れり其れ遠東問題は支那を以て中心と爲す而して實に二十一個條高徐順濟滿蒙四路秘密協約及び其他の秘密條約は我が國の生死を分れしむる所にして又我主權を奪ふものなり之を廢棄せざれば國將に國たらず抑も此れ等條約の過去を追究するに是れ實に徐世昌及び其の徒黨の手に締結されたるものにして今禍國の條約を結びし人を以て遠東各問題解決の任に當らしむるに於ては必ず幸する所なかるべし況んや徐世昌の地位は非法國會より生れ去年舊法新選を布告したりし其の得る所の僞資格又既に喪失せり

The Bank of Chosen.

資本金八千萬圓
拂込資本金五千萬圓
積立金九百四拾壹萬圓

本店　朝鮮京城南大門通

上海南京路第七號

朝鮮銀行上海支店

電話
中二三九五　支配人室
中二三六三　營業所
中二三四四　出納係
中一九四四　貿易辦室
中二三九六　貿易辦室
中二九七七

支店出張所
內地　東京、大阪、神戶、下關
朝鮮　釜山、元山、群山、大邱、仁川、平壤、清津、鎭南浦、鎭寧、會寧
滿洲　大連、營口、奉天、新市街、鐵嶺、開原、四平街、撫順、安東縣、龍井村、哈爾賓、吉林、四家子、春家屯、鄭家屯
支那　上海、青島、天津、濟南、蘇州、漢口、芝罘、南京、蕪湖、斯德哈爾、（貨幣交換所）
米國　紐約、ニコラスク、スカヤ、浦潮、亞港

上海
歐洲行　二週一回
米國行　二週一回
香港行　一週一回
日本行　一週三回
以上

其他日本各港濠洲印度朝鮮支那等諸航路有り

日本郵船會社
上海支店長　恩田銅吉

北汽船會社代理
北鐵道

日本郵船株式會社

本社日本東京

所有汽船百餘隻●總噸數五十萬噸

故に徐世昌は支那問題に就き道德を以てするも法律を以てするも均しく發言の餘地なし更に代表派遣の資格なし唯紙上の統一を藉りて權を盜むのみ本政府職權は法律に基き賦與せられたる中華民國の正式政府にして從來對外交渉は等しく天下の公道に則るべきを以て國際間の秘密條約には絶對に拘束を受けず本總統は謹んで政府及び中華民國々民を代表し鄭重に宣言す將來華盛頓會議は苟くも本政府より派する所の代表が列席參與するに非ざれば支那に關する議決案は總て効力を發生せず我が友邦及び我が國民共よ之に鑑みよ

尙ほ軍政軍の駐米代表委員馬素の華盛頓國務卿に送附せる通牒文の大要は左の如しと云ふ

南方の合法政府は中華民國の全國政府なり故に太平洋會議に派遣する代表は合法正式政府より派出すべきものにして北方非法政府は代表派遣の權限無し若し非法政府より代表を派遣する如きことあれば其議決する所の條件は中華民國に於て絶對に効力を生ずる事無し且つ北京政府の總統徐世昌は非法國會の產出する所にして又徐世昌の承認する所の國會は非法なり而も自ら解散を行ひたれば徐世昌は既に自ら非法總統の資格取消しを行ひたるものなり故に北京政府は既に中華民國を代表するの資格無く決して對外上効力を發生する能はざるなり云々

●青島還附問題

▲日本提案出づ▼

▲排日派の態度▼

我小幡公使本月七日午後五時半青島退還附の提案を外交部に手渡するに至りしが、其概要は(一)膠州租借中竟地帶權利を還附し、租借地全部を開放せば、專管又は共同居留地要求を撤回し、奥地内事業請負ひ權利の放棄(二)山東鐵道と其沿線鑛山の放棄(三)山東鐵道と其沿線鑛山の上支那の稅關たるを明にす(四)山東鐵道延長線は新借款團にて引受くること(五)支那巡警隊組織と共に日本の撤兵(六)山東商業地を外國人の住居貿易に開放することにして、米國より山東問題を華府會議以前に解決せんことを希望し來りたるを以て、日本より斯く提案せるものなりと云ふ

之に就き北方に於ては八日天津の排日新聞は某要人の語として掲げて曰く小幡公使提案の內容は知り難きも日本の根本主張は一、日本は山東に租借地を設け該租借地の主權及び行政權は總て支那に還付す二、山東鐵道合辦三、即時撤兵にあるも其の第一は未だ經濟權還付を明示せず斯くては支那の得る處は山東の脫殼のみ第二項は千九百十八年九月二十四日の契約なるも之の契約は未だ國會の同意無く殊に國民の大反對ありたる所なり小幡公使の提案が若し斯る安福時代の賣國契約を基礎とせるものならば太平洋會議も目前に開かるゝ今日政府も之の交渉に應せざる可しと云々

當上海に於ては米國機關紙新聞報は北京電報として日本を中傷すべき記事を載せて曰く青島還附に附き意見書を呈せるものあり曰く日本は實際山東の經濟上の全權を攫取するに在り若し彼と交渉せば二十一ケ條の束縛を受け日本の東亞モンロー主義を助成せしむるものなり云々、徐總統は之を外交部に廻はしたりと、而して更らに此事を社論を以て論評して曰く、日本は自ら矜りて條件を譲歩せりと云ふが今日傳ふる所のものに就て云へば變動あり、某氏は總統に對し日本は山東經濟的全權を獲得せんとするものなりとの意見書を奉れりと云ふが頗る迂々きものあり且つ此問題は放任已に久しきに拘らず、日本は既に讓歩の意ありしにも拘らず、何を以て之より以前に提案せずして適太平洋會發起の後に提出するや、最も注意すべき點なり、我國は本來國際聯盟會に提出すべきことになり居りしが米國は列席せず、其餘の大國は皆日本と私約あり、故に日本は坦然疑はざりき然るに我國が太平洋會に提出すと聞くに及びて乃ち翻然變計して力めて會議前に解決を圖る、關鍵此に在り、則ち我國自ら處する道は知り難きにあらずと、又排日親米紙商報は直接交渉飽く迄反對すべし日本が橫暴なるも强ゆるも、將た政府が軟化するも、國民は國民として政府を監督するの態度を取れば可なり、吾人は日本公使に向つて問はん、日本にして沿線の撤兵を實行し、二十一個條を取消して眞に公理を發揮せば我國は正式に談判せんと

尙ほ青島還附問題に對しては輿論は政學會系の外は躊躇の模樣なるが我小幡公使提案後の北京電報を示さば左の如し

八日の閣議は公開に決し各方面の意見を徵し其上に回答することに決せり、去る水曜日に英米兩公使は外交部に赴き顏總長と共に山東問題の解決は不可能なる事を斷言す他の問題は抑々末なり前記威嚇政策の遂行は支那の富源を攀げて日本の支配下に置く事となり支那が此の羈絆より脫出するには是非他國の拘束を受けざる廣東正式政府より代表を會議に送るべきものにして徐世昌及其の政府は偸りに日本に束縛せられ偸りに日本と妥協し居れり彼は二十一個條協約と關聯して交渉を誤り國權を喪失せる內閣の國務總理たりし者にして彼と彼の政府は一千九百十八年の日支密約其他非法の取引を締結し支那の富源を日本侵略政策に伴ふ開發の爲めに提供せり彼れは憲法に反して組織せられたる國會より總統に選擧せられたり其の國會又彼の爲めに非法國會なりとして昨秋解散せられざるを得ざるに至れり之に反し廣東政府は絶對に外國に拘束されざる正式政府なるを以て廣東政府の派遣する代表が會議に出席せざる限り支那に關する決議は一切無効なる事を宣言す

右宣言に關し廣東總統府情報局は左の如き註釋を加へたり

米國の軍備は直接多少日本の軍備に關係ありて米國に日本の軍備增減を標準として軍事費の支出を決定する必要ある事は第一に注意を要す日本の帝國主義の直接目的は支那を支配するに在るを以て自然軍備を充實する必要あり二十一個條日支軍事協定千百九十八年の日支密約其他北京政府が責任ある對日取引に徵し明瞭なり日本の宣傳家は日本が支那に過剩人口の排泄口を求め工業原料の供給を受けんが爲め絶對に必要なりとの理由を附し居れども日本が支那に於て軍略上の中心點に政略的植民を爲すと云ふ意味合を離れて論ずれば支那の關內地方は既に人口過剩なる上に關外即ち滿蒙地方は氣候極寒にして準正なる意味の日本人の植民には適せず若し其れ工業原料の供給に關しては普通に通商貿易の徑路に依り之を受くる事容易なるに非ずや然れば即ち日本が支那の

●孫文の日本攻擊宣言

▲太平洋問題に就て▼

太平洋問題に關し孫文は本月五日付を以て極端に日本の對支政策を非難せる英文の宣言書を發表せり內容左の如し

予を正式總統とする中華民國政府は二十一個條日支秘密協約及び日本の利益の爲め徐世昌の政府が締結若しくは讓與其他コッセッションに關する政策の羈絆を脫出するに非ざる限り太平洋及び極東問題の解決は不可能なる事を斷言す他の問題は抑々末なり前記威嚇政策の遂行は支那の富源を攀げて日本の支配下に置く事となり支那が此の羈絆より脫出するには是非他國の拘束を受けざる廣東正式政府より代表を會議に送るべきものにして徐世昌及其の政府は偸りに日本

資本金五千萬圓
拂込濟參千萬圓
上海廣東路九號
株式會社 三菱銀行
電話 營業室 中二九六四 中三二二三
買辦部 中二三四八
支配人席
本店 東京 丸之內
支店 深川 日本橋 大阪 中ノ島船場 神戸 京都 名古屋 倫敦 紐育

M
本店 大阪
支店 東京、橫濱、神戸、天津、青島、漢口、大連、香港、孟買、甲谷陀、紐育、オースチン、フォートウォース、ヤトシル
取扱品 棉花 綿糸 綿布 生糸
株式會社 江商 上海支店
上海北四川路五十五號
電話 支配人席 一二二二 受渡 九二九四 會計 三九二四 賠償

支配を計畫する眞の目的は奈邊に在りや素より支那の人力及び富源を制御し次で太平洋を制御し進んで濠洲及び米國に迫りて日本植民の爲め之を解放せんとする大方針に外ならず北京政府は有力なる巡閱使數名より維持せられ之れ等巡閱使は日本の好意と援助とに頼れる張作霖の支配下に在り故に日本の此の政策が北京に集中せらるゝ間は如何なる代表と雖も適當に支那の問題を會議に提出する事は不可能なり

●兩湖問題と四川軍

兩湖の和議は已に本月一日吳佩孚と趙恆惕が英國艦上に於て協定せし九個條の休戰條約により一歩を進め居れりとも云ひ、已に和議條約は成立せりと稱せらるゝも事實は依然軍事行動を停止せず、政府も少からず之に懸念し、四川軍は續々東下し、廣西軍は株洲に集注しつゝあるものゝ如し、湖南の和議は信を措くに足るや否や疑なし、若し和議の名を借り敵が我が精鋭の氣を挫じくの具に供しつゝあれば後來益困難の境遇に立たざるべからざるべし、和議の件は充分に愼重なる態度を以て當られ度しとの旨警告電を吳佩孚に與へ吳も亦之に愼重なる態度を取り誠意の認むべきや否やを探ぐり、湖南の態度如何によりて武力を以て當たる覺悟を爲し、戰備を怠らずと傳へらるゝ、而して湖南に於ては吳佩孚に屈服せる趙恆惕が休戰條約を結ぶに至りしを憤慨し湖南第一師長宋鶴庚等は愈趙恆惕驅逐策を講じつゝあり、長沙は或は混亂の狀態に陷るやも知るべからずとせられ尋いで方本仁の軍は長沙を占領せりなど報ぜられたれども、其後此等は事實にあらずして長沙は依然無事なるに似たり、此に於て兩湖問題は兩湖雙方の間には別に特記すべき發展なけれども、四川軍の運動は反りて甚だしく、剩つさへ近頃四川雲貴の三省聯合會議の擧あり、廬山會議に對する向ふを張るに至れりとの報出づると共に、四川軍の東下して宜昌を降さんとする勢は火の手を擧ぐるに至れり、尤も一時劉湘は三日に至り四川軍の宜昌附近の東下を引回へさしむる旨（兩湖休戰成立したれば）吳佩孚に打電せりとありしも、本月一日宜昌對岸に於て開始せる四川軍の攻擊端となり、即ち五日漢口發の電報之を證せり

宜昌方面の情報を綜合するに宜昌は去る一日より四日に四川軍と戰鬪を開始せるものゝ如く四川軍の大部隊は一日の對岸に現はれ同地の湖北守備軍を攻擊せり守備軍司令蘆は直に軍隊を對岸に增加して之を防禦し三日の如きは大雨に乘じ大劇戰を交へ雙方一勝一敗あり目下猶は對峙し居りと宜昌在留邦人は之が爲め領事館及び日清汽船の二ケ所に避難し軍艦鳥羽は陸戰隊を上陸せしめ保護に努めつゝあり又在沙軍艦隅田は既に宜昌に向へり又六日に至りルーターは四川軍の宜昌攻擊の目的は、三百萬元の鹽稅差押へに在りと傳へ、諸領事は在留婦人小供の漢口に來るべきを勸告し、同時に四川軍司令官の駐在地たる夔州を訪ひ、湖北會議の終了する迄休戰を締結せしむる方法を取りたりと報せられしが、七日に至りルーターは過日の戰爭の模樣を報じて曰く

最近の戰鬪は總計一萬人（？）の死傷者を生じ二百人の北軍は河中に追ひ込まれて溺死したり

四川軍左翼は今北東より攻擊しつゝあるも未だ防禦線を突破するに至らず今や北軍の援兵到着しつゝあり

一方に於て人民の宜昌より避難する者頗る多く出帆間際に在りしタンチン號は乘客滿員となれり食料を得ること日々困難となり價格暴騰しつゝありと而して翌二日に至りルーターは四川軍再侵入を報じ、東方通信は吳佩孚は自身防備に出動すべしと報じ旁以て各國領事の骨折り效なかりしを知るを得たり即ち左の如し

七日宜昌商會の來電に據れば四川軍は各國領事の休戰勸告を拒絕し七日朝より宜昌の東北方に迂廻し包圍攻擊を開始せり宜昌守備軍司令盧金山は之が防禦に努め居るも兵力少數にて頗る危險に陷れり之れがため宜昌の商民は全部避難中にして市內混雜し城內は全く空虛とならんとすと

武昌督軍署は昨日宜昌よりの急電に接し在武昌の第二十四師一團を宜昌に向け急行せしめたり（ルーター）

▼宜昌方面は各國領事の抗議に依り一時休戰せるも前線の各軍隊命令統一せざる爲め猶ほ一部の進擊隊ありて戰爭は實際に於ては未だ停止せられず四川軍の東下し來る者續々として甚だ多しと又四川軍の一部は宜昌の北方に進出し荊州上游方面に出現し陝西民軍と相呼應し湖北軍の背後を脅かさんとする形勢に在りと之が爲め吳佩孚は近日中自ら宜昌に赴き防備計畫を爲すべし（東方）

尙は直派軍の對南配備計畫としては保定會議の決定事項は左の如し

湖南方面は吳佩孚を總司令とし第三師第二十五師及び靳、董の兩混成旅鄂西方面は王承斌を總司令として二十三師二十六師及第一師第一團河南軍江西方面は張福來を總司令として二十四師及び山東軍二旅とし從來の湖北軍は地方警備とし蕭耀南を警備總司令とす

終りに本月八日發北京漢口電報として兩湖及川軍に關する記事を紹介せる左の如し

▼宜昌商會よりの來電に據れば四川軍は領事團の休戰勸告を拒絕するとと同時に七日より直に進擊を開始し宜昌の對岸及東北方の兩面より猛烈に攻勢を取り來り昨夜より今朝に亘り激戰數回に及び北岸は北軍勝を得たるも南岸は四川軍の大勝に歸し四川軍は甚だ優勢なるが如しと之れが爲め在武昌の第三十六旅長馬鈞榮は全軍を率ひ本日宜昌に急行せり

▼宜昌方面愈々急を告げ來れる爲め吳佩孚は第二十四師の外孫傳芳部下湖北軍第二師步兵一團砲兵一團を招商局汽船に便乘せしめ宜昌に急行すべく命令せり

▼吳佩孚は其主唱せる廬山國是會議の南北各方面より反對せられしのみならず曹錕よりも注意を受けしの爲め甚だ快しとせず且つ曹錕一派が之の機會に乘じ巡閱副使たらん事を運動し密かに吳佩孚の根據を覆さんとするより吳佩孚は大に驚き近く洛陽に引揚ぐべしとの風說あり

●靳辭職慰留さる

靳雲鵬の辭職說は常に傳へらるゝも、常に打消さるゝを以て人之を怪しまざるなり、蓋し安直兩派爭執當時即ち龔心湛代理內閣以後の事にて奉直兩派が決裂する時に際するにあらざれば問題にあらずと觀察せざるべからざればなり、或は徐世昌が失脚するにあらざれば、靳の辭職の實現は至難なるべしと云ふものあり、何れにしても靳が本月五日徐世昌に對し請暇を申込みたるは事實なりしも、勿論徐は直ちに慰留したり、周樹模內閣、王士頭內閣などの說時に傳へらるゝも何か爲めにするものありて流布せらるゝものにあらざるかゾは兎も角として此事に就き亞細亞通信社の報する所によれば、之より先き靳雲鵬は郭則雲秘書長を徐總統の許に派して謂いて曰く中秋節眼前に迫り財政益々困難を加へ到底此の難局に處し難し故に辭職を請ふと但し靳總理の辭意を起せるものは今日に始まらず屢々辭意を洩らせるが財政困難は表面の理由にして實は過日安省長問題の爲めに江朝宗と衝突し不快を覺ゆると共に廬山會開說の擧ありて平素より武力解決の方針を裏切らるゝ恐れある爲俄に辭意を萌せしものゝ如く一方交通系の倒閣運動ある爲め辭意を起せりとの說を爲すものあれど此の舊交通系の陰謀は今日始まれるものにあらず且つ舊交通系は直隸系とは到底一致し難き處のものあり一に奉天系に依らんとするも奉天の勢力は近來頓に衰へ舊時の如くならず張作霖亦舊交通系の傀儡たるを警戒しつゝあれば此の方面との聯絡意の如くならず到底舊交通系の陰謀を恐れて靳總理の退志堅きをなせりとの說は當らざるべし近日其の退志は安徽省長問題の爲めに感情を激せるとは兩湖問題が其の意の如くならざる爲めなるべし但し今日の場合靳總理辭職するも後任を得る困難なれば徐總統は絕體に其の辭職を許さず慰留に努むべければ靳總理の辭職は到底實現困難なるべしと觀測せらる

資本金　壹億圓
拂込濟資本金　六千萬圓
一法定準備並ニ別段積立金　貳千八百萬圓

株式會社　三井銀行
上海九江路四號
電話　營業（同買）　支店長室（同辦）　支店長（中）（中）（中）
本店　東京　東京深川、東京箱崎、小樽、横濱、大阪、人阪、西宮、大阪中島、京都、下關、門司、若松、長崎、名古屋、廣島、下關、門司、若松、長崎、名古屋

資本金　七千萬圓（內拂込四千萬圓）
諸積立金　一千八百萬圓
本店　大阪
支店　東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戸、兵庫、尾道、新居濱、呉、廣島、柳井、下關、門司、若松、門多、小倉、久留米、布哇、桑港、孟買、漢口、シアトル、紐育、倫敦、

株式會社　住友銀行
上海九江路十號
電話　（營業用）（同上）（同辦用）（表間用）（支配人約）

上海報界の過去及現在（四三）

□安直兩派及西南の爭執

▽大體に云ふ所の安直兩派の爭執は愈劇しくなつたが、實は四分五裂の局を成爲するに至つて、中央に於ては安徽派に內訌あり、安福派と非安福派の爭あり、地方に於ては陳樹藩と劉存厚の反目あり、吳光新と趙倜の爭あり、南方に於ては雲南駐屯軍の問題から李烈鈞莫榮新の爭あり、繼いて方聲濤陳炯明の爭に及び、更らに陸榮廷對唐繼堯の反目を召く樣になつた、之が爲め各地殊に湖南駐在の北軍は中央の命を聽かず自ら撤退すと叫び、八省同盟に對する十一省同盟說出で、政客此間に在り所謂合縱連衡を策して東奔西走することは甚だしく、直派は雲南軍と結合せりとか、種々の挑撥的記事論說は新聞紙上に現はれる樣になつた

▽先づ安福派の曹汝霖、朱深、李思浩三總長辭を以て靳內閣を倒す策は實行が出來なくなつたが、之は安派の足並みが揃はなかつた證據で云はゞ內訌の罪である、直派の防禦策の力は又勿論である、然るに安派も四分五裂の形勢に氣を揉み始めたるか段祺瑞は三月十八日の特別列車を以て保定に赴き曹錕を訪ぬることになつたので注意問題となつた、其用向きは吳佩孚の湖南撤退を止めさせる爲であつたに相違ない、ケレども曹は吳佩孚の引上げは曾つて幾度も阻止電報を發したれども、兵士の歸心箭の如く又已むを得ないと答へたとの事であつた乃で安直兩派の決裂も亦已むを得まいと思はれた、何となれば吳佩孚は三月二十二日中央の命令を待たずして自由行動を取りて兵を撤したのみならず、此れ聽かずて八省同盟組織の急務に由るものだと推せられたからである、之が爲め中央は安福派に非安徽派に內訌あり、安福派と非安は李奎元の部下第十一師に湖南駐紮を命じたけれども、李は往かないで病と稱して暇を請ふに至つた、湖南督軍張敬堯は、自ら防備を善くすべく、吳佩孚去るも憂ふるに足らずと云ひ、李の駐紮なきを顧慮せないとの旨報告したけれども湖南人は安派の仇たる直派と組みて張敬堯を倒すべく兵を繰り出す事になり之と同時に直派に加担せる四川劉存厚に對し、陳樹藩は兵を漢中に派し劉を迎へ討たんとすとの報道があつて、北方の色彩は安直兩派の決裂を見るの外なき險惡な形勢を生む樣になつた

▽北方の形勢は先づざつと此くの如しであつたが、南方に至りては李根源對李烈鈞、民黨對政學會、雲南派對廣西派、唐繼堯對軍政府、理想派對陰謀派と云ふが如く複雜なものに火を付けたあつた、此複雜なものに火を付けたものが、即ち李烈鈞と李根源の戰爭であつた、此戰爭の火は飛んで陳炯明と方聲濤の戰爭となつた、之が爲め陸榮廷と唐繼堯の反目を來すべき形勢となつた、之れが爲め三月二十七日に至り岑春煊は李根源李烈鈞の孫段の握手は八省同盟の進行と比例して濃厚になつた、兩者の濃厚は益々濃厚になつたが、段孫の握手に關に河南問題は吳光新の光明正大なる通電があつたけれども、直派の吳光新に對する劃策は甚だしく、爲めに趙倜は信陽に集中せる吳光新に對抗すべく兵を繰り出す事になり之と同時に直派に加担せる四川劉存厚に對し、陳樹藩は兵を漢中に派し劉を迎へ討たんとすとの報道があつて、北方の色彩は安直兩派の決裂を見るの外なき險惡な形勢を生む樣になつた

▽北方の形勢は先づざつと此くの如しであつたが、南方に至りては李根源對李烈鈞、民黨對政學會、雲南派對廣西派、唐繼堯對軍政府、理想派對陰謀派と云ふが如く複雜なものに火を付けたあつた、此複雜なものに火を付けたものが、即ち李烈鈞と李根源の戰爭であつた、此戰爭の火は飛んで陳炯明と方聲濤の戰爭となつた、之が爲め陸榮廷と唐繼堯の反目を來すべき形勢となつた、之れが爲め三月二十七日に至り岑春煊は李根源李烈鈞の孫段の握手は八省同盟の進行と比例して濃厚になつた、兩者の濃厚は益々濃厚になつたが、段孫の握手に關

に向つたけれども、途に失敗に終り伍廷芳の如き總裁を辭し香港に逃るるに至つたので、岑も亦急に韶州より廣東に歸つた、此時北京と結べる政學會に對する孫文派は多く香港に赴ひた、政學會派は頻りに孫文派の段祺瑞と握手せるを云ひて攻擊したけれども、共に民黨てふ價値を損したことは一であつた

▽かく四分五裂の時に當りて上海和平會議再開說が喧傳せらるゝ樣になつた、政學會は從來の和議は自派のブロカーになるけれども、王揖唐總代表となつての後ほ、トテもブロカーになれないから此說は南北がハツキリと二つに分るゝ場合でなければ駄目である、四分五裂の此際にらに今回の和議は全く王揖唐が總代表に任命せられたる面目上、是非とも和議を再開しようと謀る結果から來るものであると素破拔いたものである

▽四月三日に至りて靳雲鵬は內閣に出席し小康を得たる觀があつたけれども、外交教育農商の三總長は依然として定まらない、又も段祺瑞內閣說が出で繼ひて王士珍內閣說が出た是れ四日を以て徐世昌の招きにより王士珍が入京したからである、然るに段祺瑞は北京政界の五月蠅きを厭ふた爲めか將た段自身在京するを不便と思つた爲めか、兎も角團河に去りて歸京せない、徐世昌の督促を受くるも肯んせなかつたのである、此時孫文の代表某が五日段を團河に訪ふたことがあつたので、所謂安福派を倒し、次きに靳內閣を維持し、間接に段祺瑞を排せんとするものなるが、此時徐樹錚が安徽督軍たる丶かも知れぬと見るものあつた

▽鬨動起用は安徽督軍倪嗣冲が病篤しと云ふ所から起つたもので、張文生をして其後を繼かしむること即ち馬聯甲を安徽より退ける爲めであるとの說と、安福派が徐樹錚を安徽に置かんとする魂膽があるから、張勳起用說を流布して世を囂しくする底意から來たとの說もあつて、何れとも定かならざれども、民黨が此說を殊更らに大きく流布した點から考へば、世を攪亂する底意があつたと察せられた、ソは兎も角として當時上海に在つた、孫洪伊は記者に向つて張作霖は今回八省同盟を組織し第一安福派を倒し、次きに靳內閣を維持するものなるが、此時徐樹錚が安徽督軍たる丶かも知れぬと見るものあつた

何れにしても四月初頃の形勢は世人をして支那政局の將來を揣摩するものをして少からず迷はしめたものである要するに、日本人の多くは安派の勢力はマダ／＼容易に覆さるゝものでないと云ふ傾向であつたことは事實である

を挫かんと云つた、其矢先き張文生は代表を奉天に派し張勳の起用を中央に向つて請願せんことを要求した徐世昌は張作霖の力によりて今日の位置を保つて居るから、張勳の起用は段派に對應上からも或は實現さるゝかも知れない、ソーなれば愈段と徐世昌の爭執は決裂し、復辟の擧が再發するかも知れない云々と

▽かく叙し來れば、當時の政界は、全く五光十色にして、眞に纏めて窺知せらるゝものでなかつたが、大體に於て安派と直派の決裂の前兆と見られた、けれども多年扶植せし安派に向つて爾かく容易に直派が火蓋を切るだろうかとの疑問があつたのみならず、張作霖は果して段祺瑞を仇敵とする迄に直派と結合して居るだろうかとの疑問もあつた、ケレども段派が孫文徒と握手することは段派が余程弱つて居ることを證するもので、或は決裂となるかも知れぬと云ふものもあつた、又日本は寺內時代と違ひ原內閣となり、列國戰時過ぎて目を極東に注ぐ時、日本軍閥の安派に對する從來の援助は六つかしいソーすれば由來山東問題を以て一般人氣を喪失せし安派は、直派から擊たるゝかも知れぬと見るものあつた

何れにしても四月初頃の形勢は世人をして支那政局の將來を揣摩するものをして少からず迷はしめたものである要するに、日本人の多くは安派の勢力はマダ／＼容易に覆さるゝものでないと云ふ傾向であつたことは事實である

營業種目
■型鋼
■銅及眞鍮板、管、棒、線
■鋼鐵管、釘、鋲及鐵線
■各種被覆絕緣電線、電纜
■鑄鋼品、鍛鋼品並諸機械
■鑛山用各種機械器具
■人造肥料並硫酸、硝酸
■石炭

住友合資會社上海洋行
上海九江路五號
支配人室中四六一九
營業室中四六二一
夜間用中三五三六
扶桑海上火災保險株式會社代理店
上海西華路文路憲路角

質精撰
●醫療用藥品●
●醫療用器械●
●醫療用繃帶材料●
●理化學用藥品●
●工業用藥品●
●玻璃藥瓶各種●
●諸大家賣藥各種●
●美容化粧品各種●
廉價販賣
諸大醫御處調劑方處
濟生堂大藥房
電話二六一一
北番五

支那飛脚通信
本通信は支那言論界の中心たる上海日刊漢字紙の記事を選
上海市內銀三弗

支那法律と禮（一）

敬庵

凡そ世界獨立の國は自ら成るの法律あらざるはなし、其法律も亦久遺傳の法系あらざるはなし、古來文化の大邦、波斯法系、フヰニシヤ法系＝海商法は稍羅馬に傳ほる＝希臘法系＝ソロンの富庶法は稍羅馬に傳はる、猶太教法系＝摩西法は舊約全書に散見さる＝の如き、其文化は繼續力なき者は相因襲せず、法律系統も亦遂に廢絶に等し、近代學者の稱する所の世界三大有名の法系は左の如し

一、印度法系　今尚ほ印度半島に行はる、印度洋附近の島歟亦奉行するものあり

二、羅馬法系　英國法系之に屬す羅馬私法は今や化して歐洲大陸諸國に行はれ、英國公法は今や化して北米英領各殖民地に行はる、然れども歐洲大戰後私法は已に變遷あり、公法或は亦增修されん、歐洲律は一度成りて變すべからざる者にあらず

三、支那法系　日本朝鮮法系之に屬す、日本は明治より歐洲律を參用したれども現行六法は唐律猶十分の六を存せり

三大法系の外にサラセン法系あり、此法系盛んなる時は東印度河に至り西西班牙に至り、今は土耳古、アラビヤ、波斯、タルタイ、南阿のモロトニス、リボリ等の他は先後英佛伊三國の藩屬となりしも、マホメット教の威權尚ほ在り、教義と關係せる法律は勝者と雖も、未だ輕易に改廢するを得ず、但し此法系は其歷史全く西方に在るに因りて葱嶺以東には適用の餘地なし研究の要なし西方諸國は其法系が全く宗教々義に屬する者多きに居るを以て研究者も亦少なし印度法系亦然かり、近世の法律學者は全く第二法系に屬して支那法系唐律大清律の如きは歐洲學者方面例へば印度法系の如きは宗教の馬尼法典に發源し且つ馬尼法典の數十家の註疏に根本せり、是れ尼法典は即ち其法律の淵源なり、又土耳古法典は即ちコーラン經を以て法典とし、羅馬法系十二銅表外寺院法、蠻民法、封建法慣習法＝歐洲大陸諸國の法系は率ね此法系を以て本と爲す＝特別法即ちジャーレマン帝國分列後諸國王發布する所の命令を總稱して特別法と云ひ命を以て法典とせり、乃ち歐洲封建制度の事は支那は甚だ少なし五種あり、日本は今歐洲律を參用するも而かも其法源を論せば依然唐律たり支那の法源に至りては實に典謨に根本し、儒教の經禮に產生せり

禮なる者は理なり、天地の序なり七情を治め十義を修め信を講じ睦を修め慈讓を尚び爭奪を去る者なり、天地を繼ざ尊卑貴賤大小の位を序して內外遠近新故の迹を差するものなり、人倫を立て情性を正し、萬事を節する者なり、人性の仁に本づき以人性の義に本き以て長幼尊卑賢愚親疏の序を立つ、故に禮と云ふ者は仁義を制するの中なり、禮を修めて以て分を定め而して後父子親あり、君臣義あり、夫婦別あり、長幼序あり朋友信あり、五達道成る、法律を言はずして所謂統治權親族權は自ら其中に在り、禮を修めて以て教を定め而して後仁智勇の三達德成る、法律を言はずして所謂人格權其中に在り故に禮成らば三綱正ふして六紀立つ支那は倫禮の國家なり、天子より以て庶人に至る、一に是れ皆修身を以て本と爲す、支那の社會は宗法の社會なり、故に家庭は社會の本たり、吉禮の別十有二、凶禮の別五あり、賓禮の別五あり、軍禮の別五あり、嘉禮の別六あり、而して支那の憲法備はる、禮義三百威儀三千にして支那の刑法應す、故に民權利を言はずして聖人美利を以て天下を利するは其中に在り、西方の言に吾法律に生存し、法律に動作すとあり、東方の言に禮あれば安し、禮なければ危し之を得れば生く、得ざれば死すとあり、詩に曰く相鼠禮あり、人にして禮なし人にして禮なし、胡んぞ遄かに死せざる、故に人民は禮教上の觀念重く法律上の執着輕し、禮に立てば民自ら讓を興し爭奪少なく、則ち刑自ら寬簡なり、有禮の大本は民の體用たり、人民は順叟も禮を忘るべからず、別ち支那法律の淵源禮を含いて何を以てせんや

王制に曰く凡制五刑必即天論＝論倫とは同じ＝郵罰理於事、凡聽五刑之法、必原父子之親、立君臣之義以權之、意論輕重之序、測淺深之量以別之、悉其聰明、致其忠愛以盡之、必察小大之比以成之、又曰く附從輕赦從赦、言附而入之則族刑從輕、赦而出之則宥從重

尚書舜典集說薛氏季宣に曰く禮大刑用甲兵、則刑の禮に出づる知るべし

皐陶謨に曰く天叙有典、勑我五典五惇哉、天秩有禮、自我五禮有庸哉、天命有禮、五服五章哉、天討有罰、五刑五用哉、政事懋哉懋哉、其五刑五用記す必す同じく天秩の五禮を叙す、明刑自反此に作るなり、呂刑伯麥降典折民惟刑

尚書集說王氏綱振解に曰く伯夷典禮、宣言禮不言刑、而曰折民惟刑伯夷の刑は即ち是れ之を齊ふするに禮を以てするを見るべし、皐陶明刑陶の刑は是れ即ち之を道くに德を以てするを見るべし、德禮政刑は本來一物なり

孔子集語に曰く陽德出禮、禮出刑、又曰く司寇尚禮

論語に曰く禮樂不興、則刑罰不中

禮記仲尼燕居篇に曰く制度在禮、文爲在禮

管子法法篇に曰く憲律制度、必法於遂、此正民之經也

荀子曰く禮義生而制法度

又曰修身篇に曰く非禮是無法也不苟篇に曰く禮義之謂亂

禮記經解篇に曰く以舊禮爲無所用而去之者、必有亂憲、文子纘義、不知禮義、法不能正

後漢書陳寵傳に曰く禮經三百、威儀三千、胡甫刑大辟二百、五刑之屬三千、禮之庭去、刑之所取、失禮則入刑、相爲表裏者也

堯舜より孔子に至る、凡そ支那政治家哲學家は反覆丁寧せり、一言之を蔽へば法律は必ず禮を正ふするのみ

以上學說は禮は法の基にして明顯確正、本と疑惑なき者なり、然らば刑名家が礪々然必爭して曰く此れ支那の法律と支那の學術は本と同性にして相通ずる者なり、近世法律觀念學說繁多にして期々として然からず、吾人は再び進んで歐洲法律觀念を取りて支那の禮と相印證せば彼れ刻擧する所の各法律觀念は禮に於て も亦包括して融會貫通すべからざるはなきなり

（未完）

印刷、製本及紙器製造

（オフセット）……カレンダー・ポスター・株券・小切手
（石版）……レヂテル・帶紙・商品券・カタログ
（活版）……諸會社用書類・レターペーパー・名刺
（紙器）……煙草函・各種サツク・ショーカード
（ジンク版）（凸版）（凹版）（彩版彫刻）

Shanghai Press, Ltd.

上海印刷株式會社

赫而克司路三十三號
電話北 一一二 九六 〇二 一五

機械、材料、文房具販賣

營業種目

堀井謄寫版、文具、印刷機械
印刷インキ、自轉車、謄寫及
製品、車輛、金庫、紙、藥品
穀雜、肥料、鑛石

TH

堀井謄寫堂支店

上海河南路七七、七八
電話（中央）叁叁貳〇

本店　東京
支店　漢口、天津、京城

雜報

●モンロー博士の演說

▲支那古道德の光大を說く▼米國コロンビヤ大學教育院教務主任及び教育史教授ポールモンロー博士は支那教育事業視察の爲め令嬢を伴ひ昨日入港のコリ丸ヤにて來滬滬洲旅館に投宿せり當地に於ける各方面の迎歡日程は左の如し

▲六日午前十時商科大學に於て沈信卿、黃任之、余日章等を支那教育問題に就きて交談す、午後二時吳淞遊覽に赴く

▲七日午前十時江蘇省教育會に於て交談（六日交談の繼續）午後二時中華職業學校及び公共體育場參觀四日江蘇省教育會に於て共和教育講演

▲八日正午一品香に於ける各公團の歡迎會午後六時青年會に於て青會會教育事業討論同夜汽車にて上海發南京に向ふ

▲尙同博士は昨日國聞通信社記者に談りて曰く

教育は國家の進步及び强盛を謀るの具なり余は支那が教育を軍國主義發達の具と視爲せるが抑も自由制度發展の具と視爲せるかを考察せんと欲す支那人民數千年來の制度及び生活中秉の所の根本的民主主義は外力の壓迫で顧みず支那の教育を自由の途徑に從つて進步せしめんことを希望す支那の政治問題に對しては意見表示を欲せざるも惟だ文化の進步及び人民の安樂は教育の自由の途徑に遵つて行はるゝことに賴るなり余は外人の眼より見れば教育の目的は能く支那人民の古道德を光大し以て各國と周旋し然して後其の困難なる問題の解決を求むるを要す支那が其の古道德を光大せずして近世の問題に對付せば其の遇所の困難は殊に弭除し能はざるなり云々

尙は博士は江蘇教育會外各教育團體より七日午後二時より江蘇省教育會に於て歡迎せられ共和教育と題せる長時間に亘る講演を爲し八日夜行にて北上の途に就き奉天、濟南、大京、武漢、長沙、南京、杭州、厦門、廣東を歷遊し十一月二十四日上海に來り同三十日の上海發を以て歸國の途に就く豫定なりと

●太平洋會議協會の意見徵求

上海總商會江蘇省教育會等九團體の組織する太平洋會議協會は八日各團體に對し本會成立以來本國の推舉する太平洋會議代表及び內爭勸息對外注意の各事に對しては已に夫々南北政府及び湖北南軍軍事局に分電し意見を表示したるが本國の提案辨法に至つては自ら分應にし衆意を採り以て確實に國民の主張表見を期せざるべからず貴會は速かに會員の意見を徵し本月十日以前に本會に復知し以て期を定めて開會討論するに便にせられたしとの通告を發せり

●亞洲學術雜誌の發行

耐久力ある支那文化は、世が亂るれば亂るゝ程、其力顯はるゝものなり、支那の今日は世造人心頹敗其極に達し、軍人政客及學生の跋扈を來せしが、其跋扈も今や一般人民の心に於て容さぼる所となれり、此心を利用して名詞を作成せるものが、聯省自治なり、國是會議なりと見て可なり、西南諸省の登場人物倒れ、中央湖北の王占元逃亡し、世は全く彼等自ら屠り合ふて俱に傷くの時なり過激派思想を以て世を擾亂せし政客の犧牲物となれる學匪の世も已に衰へ、各方面は益散沙の如く化せる時に當り、上海に於て亞洲學術研究會の發起せられしことは、吾人の已すべし其の他公棧公行及び銀行等も亦た規則進行中なりと

江蘇持派交涉公署は佛國總領事に對し同租界にある未だ許可を得ずして開業せる各交易所を禁止せんことを申込みたるに佛國總領事は此等の交易所を禁止するや否やは尙は愼重に考慮する必要ありと回答せり

▲五金交易所創立會　上海五金交易所は昨日上海總商會に於て創立會を開き戴耕莘等十五人を理事に項如松等五人を監察人に選擧せり

▲交易所公會籌備會　上海交易所公會は臨時に愛多亞路百十三號申市貨券交易所內に籌備處を設けたるが昨日午後五時より第一舊籌備員會を開き叔源等三人を起草員に又た紀仲仁等四人を會計に推し成立を急ぎ居れり

▲浦東花業交易所　浦東花業公會は火機同行聯合會成立後會務に對し着々進行し浦東花業交易所の如きは籌備已に頭緒あり一に會場の布置完竣と新棉子の上市を俟ちて營業を開始すべし其の他公棧公行及び銀行等も亦た規則進行中なりと

▲交易所禁止と佛總領事　江蘇持派交涉公署は佛國總領事に對し同租界にある未だ許可を得ずして開業せる各交易所を禁止せんことを申込みたるに佛國總領事は此等の交易所を禁止するや否やは尙は愼重に考慮する必要ありと回答せり

▲五金交易所創立會　上海五金交易所は昨日上海總商會に於て創立會を開き戴耕莘等十五人を理事に項如松等五人を監察人に選擧せり

時事日誌

九月二日（金）

▽江西軍方仁本は長沙に入れりとの報あり

▽新任米公使本月着京

▽吳趙孫定成ると報ぜらる

▽舊交通を中心とせる太平洋會討論會は本日開會し米英三國協定のみにせず、支那も之に加入せしむることを決議せり

▽一月河南鄭州に匪蜂起せりと

▽本日顧總長は代表問題につき西南の同意を得ば主席代表さなる七日閣議にて宣せりと

▽上海商會は太平洋會代表查定な電請せり

▽張紹曾の盧山會議通電は本日附なり

九月三日（土）

▽アポット氏は投資の爲めの來支にあらず煙酒問題の爲めなりと

▽盧山會議は政客が吳佩孚との一夕談を利用し勝手に通電せしものなりと報ぜらる

▽廣東に於て代表は南方よりすべきものと云ひ、北京は日本と交換せりと宣傳し始めたり

▽初漢民、汪兆銘、鄒堅三名は陳炯明面會の爲め廣西に赴けり

▽張一麟は盧山會議贊成通電を發せり

▽九月一日の吳趙協定九ヶ條なるもの本日流布せらる

▽本日四川軍劉湘は吳蓀軍人に對し兩湖戰爭終りたれば四川軍の東下を中止すと打電せりと傳へしが一方四川軍は本日宜昌を攻擊せりとの報あり

▽大連會議本日より開始さる

九月四日（日）

▽上海學生聯合會は吳佩孚の盧山會議反對通電を發せり

▽政學會派は盧山會評開かるべしと報道す

▽任安徽督軍張文生

▽任江蘇督軍齊燮元

▽本年の全國商會聯合會は漢口を止めて上海とするに決せり

▽盧山會議に對し斯は放任主義な主張せり

▽藍天蔚の部下は安宜を占領せりと

▽陳光遠は林澤鐵道國有決行時機なりと電告す

▽政府は仲秋節九百萬元を要し十年公債が上海銀行公會より反對せらるゝにつき困却し居れりと

▽閻相文は本日上將を進贈さる

▽吳佩孚の眞意は長沙占領し四川なも征する考へなりと

▽米國コロンビヤ大學モンロー教授本日來滬

大阪毎日新聞社記者　法學士　平川清風著

支那共和史

全一冊　定價　銀五弗
菊版總クロース　九百頁

第一編　九月廿五日發行
第二編　十一月一日發行
第三編　十二月一日發行

第一編　革命の醞釀
第二編　共和政府肇立
第三編　袁武斷政治
第四編　政府議會衝突
第五編　南北對峙
第六編　段沒落迄

郵送料　日鮮、臺、樺太、奉天、京津、漢口等　三十錢　大連、旅順、香港　二十七錢　五十錢

春申社發行

火災保險　明治＝東京　共同＝日本　東京海上＝千代田　神戸海上＝大阪海上　大正海上　會社保險

海上保險　東京海上火災保險會社　大正海上火災保險會社　横濱火災保險會社　東京火災保險會社　共同火災保險會社　損害精算代理店

生命保險　明治生命保險會社

海難救助作業

東京サルージ株式會社

上海代理店　三井洋行（電話中四九九〇番）

申込所　山口商店　電話北四五九夜間錄用　北二三九七

中華皮革廠

營業科目
各種製革
各種調革
各種鞋
各種皮革製品
各種織用各種革具
各種紡織品
各種皮革製品
一式製造販賣

事務所、工場　上海曹家渡　電話西一〇〇〇番

販賣所　上海廣東路十九號　電話中二三七六番

日本麥酒株式會社釀造　代理店　上海　三井洋行　電話中四九九〇

サアビビル

上海文路第一號　山口商店　（電話北五四四）

▲合衆交易所市場　同交易所は拋球場早三號籌備處は狹隘なる南京路先施公司百二十八號に移りたる中秋節後同所を臨時市場として開業すべし正式市場は西藏路九江路安康里に建築し居れり

▲交易所公會組織　上海交易所は各易所公會組織の爲め昨日東亞酒樓に於て茶話會を開きたるが加入交易所代表出席して組織に一致賛成し每所一人宛の籌備員を出し佛租界愛多亞路百十三號十五號に籌備號を置くことに決定したり

▲五穀交易所組織者逮捕令　米商虞瑞清等が佛租界に米業五穀交易所を組織せるに就き沈上海縣知事は屢次嘉穀堂米業董事等をして停止方を勸告せしめたるに聞入れざるより其の處置を江蘇省長に訴へたるに省長公署よりは米穀の交易は農商部令にて禁止し居るに虞瑞清が租界を恃みて護符となし同業の勸阻を顧みず同交易所を組織せるは不都合なれば交際員に對し佛國領事と其の鑑札取消し方を嚴重に交渉するやう打電し及び淞滬警察廳に虞瑞清を逮捕して法庭に送るやう打電せりとの返電に接せり

▲上海絲繭交易所創立會　上海絲繭交易所は昨日上海總商會に於て創立會を開きたるが籌備主任楊奎候は籌備處は前日二回中國絲繭業交易所に書面を發し合併問題を磋商したるも一回の返答無く探知する所によれば同交易所は合併を希望せずとのことなれば本所は應に繼續進行せざるべからずと爲め本日を以て創立となすと報告し一同之に賛成し途に章程の修正を提議し並びに職員の俸給額を通過し次で理事及び監察人の投票選擧を行いたるが投票多數の爲め開票するに至らず本日開票發表することゝなれり

▲中國絲繭業交易所の所員養成　上海中國絲繭業交易所は錫金公所內に所員養成所を設置し其の開所式を行へり

●親日派反對の遊行大會計畫

上海の工商學各團體は親日派が太平洋會議代表たらんと運動し及び山東問題直接交渉の消息あるより均しく安福派の餘孽が蠢動せんとする勢あり死灰の復燃せざるを保し難し萬一不幸にして事實ならば支那の前途は設想するに堪へず若し徒らに文電の爭ひをなさば政府方面ありては已に慣れて見ざを聞かざるが如くすと現に各團體は相互に聯合して遊行大會を擧行し當局者に刺戟を與へんとの計畫あり

●廣東敎育會と全國會議

本年の全國敎育會議は順序よりせば廣東に於て開かるべきものなるも廣東は戰事多忙なりし爲め北京に移して開會し兼ねて基金を募り又た學校風潮を解決することゝなりたるが此頃に至り廣東省敎育會は北京の學會期會地に何等の影響の無く十月十日の雙十節に開會し得るやう準備し居るを以て提案及び本年度會務概況の修正を提議し並びに職員の俸給額を通過し次で理事及び監察人の投票選擧を行いたるが投票多數の爲め開票するに至らず本日開票發表することゝなれり

▲中國絲繭業交易所の所員養成　上海中國絲繭業交易所は錫金公所內に所員養成所を設置し其の開所式を行へり

●親日派反對の遊行大會計畫

上海の工商學各團體は親日派が太平洋會議代表たらんと運動し及び山東問題直接交渉の消息あるより均しく安福派の餘孽が蠢動せんとする勢あり死灰の復燃せざるを保し難し萬一不幸にして事實ならば支那の前途は設想するに堪へず若し徒らに文電の爭ひをなさば政府方面ありては已に慣れて見ざを聞かざるが如くすと現に各團體は相互に聯合して遊行大會を擧行し當局者に刺戟を與へんとの計畫あり

命令

△九月二日令
加陸軍少將銜
給一等大綬寶光嘉禾章　王献臣
△九月三日令　梁士詒
任江海關監督
給一等大綬嘉禾章　陶瑗
任鳳陽監督　馮寶愚
△九月四日令　姚煜
故閣相文
追贈陸軍上將　張文生
任安徽督軍　齊燮元
任江蘇督軍
△九月六日令
任湖北高等審判廳長　林棨

●安福派の活動說

安福派鵬首徐樹錚、王揖唐等は黨徒係某を巨欵を携へて上海に派し在上海民黨と聯絡し長江一帶に於て遊民及び近伍兵士を募集し江北の韓恢と接洽し直隸軍の湖南攻擊を牽制せんとすとの說あり之が爲め上海軍政各機關は江蘇督軍より嚴拿して地方の治安を衞るべしとの密議に接したり

●交易所考察の困難

農商部より特派されたる僉事梁玉書は各交易所の內强考察の爲め來滬したるも交易所は何れも租界內にあること以て考察に着手するに便なるも唯だ農商部より頒布せる物品交易所章程條件を各交易所に參考として郵送せるのみにて此の事は未だ何事にも手に付けず

●染料の輸入額

支那の輸入する染料は獨逸品最も多く瑞西品之に次ぎ米品英品之に次ぎ歐洲戰爭前は獨逸品が支那市場に於て獨步の勢ひありたるも開戰後衰落したるが昨年獨支國交恢復して獨逸品の輸入又た漸く旺んとなり戰前の數に及ばずとは雖も其の他の各國の輸入額に比較せば大に見るべきものあり

●沒收船抵當借欵

上海にある海軍各艦隊は政府が俸給を支拂はざる爲め過日中立嚴守の宣告を發したるが海軍界某の談る所によれば海軍の俸給支拂停滯額は一千九百余萬元にて先月巡洋艦海容が江陰停泊の水兵は騷動を起さんとしたることあり政府は湖南湖北戰爭に海軍の共同作戰を必要とし上海に人を派し沒收獨澳船を抵當として借欵し之に次で停滯俸給を支拂はんとしたるも借欵は成立するに至らざりしが前海軍總長薩鎭氷は近日中北京より上海に來り借欵の成立に努むる由

●借家人聯合會

上海には近頃家賃騰貴するを以て今回房客（借家人）聯合會なるものを組織したるものあり家主は道德を尊崇すべし官憲は竭力輔導すべし借家人は本分を安守すべし等の宣言を發表したり

●永泰和烟草會社創設

支那人鄭伯昭等は資本金一百萬元にて上海に永泰和煙草會社を創設することゝなり準備完成し北京政府に許可を呈請せり

●學生會の盧山會議反對

中華民國學生聯合會總會は吳佩孚

▽靳雲鵬は本日辭職を乞ひしも徐世昌未だ許さず

▽大連會議は頗る重大にして露國は眞劍の活動なりと

▽四川軍宜昌攻擊に就き我軍艦隅田は同地に向へり在留日本人は避難せり

▽趙恒惕は長沙に歸れり

▽曹錕は張作霖と打合せ國是會議の如き大業に輕擧する勿れと電し寧ろ兵力主義なりと

▽曹錕は劉存厚援助者なり

▽上海各團體はモンロー博士を招待す同博士は支那の古道德提唱を說く

▽盧山會議は泰天も廣東も共に反對なり

▽本日宜昌趙棠華の報告によれば四川軍に休戰を申込めりと

九月六日（火）

▽在長沙の湖北自治軍は解散せりとの七日趙恒惕は打電せり

▽本日の閣議縣自治施行期日及區域は敎會を以て公布するに決せりと

▽米國は無線電問題につき嚴勵なる命令をシュルマン公使に與ふべしとの旨施公使より入電

▽黎元洪等は華盛信托公司設立の答なりと

九月七日（水）

▽某顧問は華府會議に就き內外債統計を作り外國なして支那政府の負へる債務を曉然たらしむべしと請へり

▽山東問題は小幡公使より自開商埠を許し膠濟鐵道令辦を求むべきものを示せりと

▽江蘇安徽賑防成立せり

▽靳の辭職芝居にして張曹の慰留電によりて中止さる

▽宜昌戰事は日英領事の勸告により休戰せりと

▽孫文伍屢は三日北伐主張を宣し吳佩孚の無節操を罵る、議員亦北伐を主張す

▽吳佩孚は本日杜錫珪と共に岳州より宜昌に赴けりと

▽本日小幡公使は支那外交部に山東青島還附の提案を交附せり

▽張一麟は南京に於て盧山會議の必要を說き上海に來れり

▽本日孫文は總統命令を以て北京政府の太平洋會代表派遣を否認せり

▽宜昌戰事は日英領事の調停を聽かず再戰するに至れり王占元本日入京す

九月八日（木）

▽青島還附は當分公表せざるべし

▽支那政府は青島問題を公開すべしと

▽直派に曹錕派と吳佩孚派とあり內訌生ずと

▽四川軍其だ優勢なりと

▽政學會派は直接交渉を賛成するも孫文派は反對なり、他は躊躇す

▽盧山會議に對し米公使に頗る遺憾とせり

▽葉恭綽は米セックス氏の太平洋會議に對する意見を徵し其返電を徐に渡せり

▽孫文代表は某國人の紹介にて張作霖に面せりと

營業種目
葉煙草、洋紙、雜貨、其他一般輸出入業埃及メルコニアン煙草會社代理店
上海博物院路十八號
株式會社　伊藤商行
電話（中央）三〇九三　（中）三〇八三
支店及ビ出張所
漢口、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京、

○資本金　貳千萬圓
營業目課
各種事業ノ調査設計及引受各種事業ニ對スル直接間接投資
東亞興業株式會社
上海出張所
上海九江路第五號
電話中一九九五番
本社　東京市麴町區八重洲一丁目一番地
出張所　北京、漢口、上海

諸藥品、織機絹綿布、雜貨出入貿易
上海河南路八號
株式會社　東亞公司
電話中央（一七三四　四一二六）

本金資　五千萬圓
營業科目　棉花、綿絲、品綿製生絲
大坂北區中之島貳丁目十番地
本店　東京
支店　大阪

日本棉花株式會社
上海支店
支店及出張所
大坂船場、名古屋、東京、橫濱、神戶、大連、營口、鐵嶺、開原、長春、哈爾濱、上海、漢口、津天、青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭貢、カラチ、紐育、倫敦、シャトル、ブエノスアイレス、佛國アーブル

の發起せる盧山會議なるものは公約第三條に國民會議の組織は各省議會及び各法團聯合して全權代表三人を公推するとあり第五條に國軍會議は暫らく二人を推し國軍を以て兩會の尊嚴を保障し決議案の効力發生の爲めにするとあるが省議會及び法團の武人官僚の應聲虫ならざるもの幾何かある其の推出する人は曷んぞ國民を代表するに足らんや又た軍隊を以て會場を包圍せば代表の當を得ざるは論無く當を得せしむるも誰か敢て唯諾附和せざらん安んぞ自由の餘地あらんや惡端一たび開かば行々國民會議を假造し以て政府を組織する者續出すべし墨西哥の同時九總統の活劇を支那に重演し難きにあらず國際共同管理の說は謠傳より事實となるべし國人は正論を主持し狡謀を杜絶せんことを望むとの通電を發せり

●銀行員の投機事業禁止

上海銀行公會は近來各種の投機事業勃興し來り伊買人の各銀行に出入する者頗る多數なるが這は銀行員の心に一種の投機心を引起し易し其の殷中に入りて身敗名裂を致せる者ある是屢次聞く所あり各銀行員は此の轍を蹈まざるやう注意すべし投機の害は小にしては名譽を損失し大にしては家を傾け身を亡ぼすものなるが銀行員として仲買人と結托して種々不正行爲をなす恐れあるを以て銀行員は投機事業に手を出さざるやう勸告し若し手を出したる者は直ちに解雇し且つ他の銀行に雇ひ入れざるやう通告すべしとて昨日各銀行に通知したり

●通州棉の不作

通州棉花は恰かも結鈴の時に當り二回暴風雨に遭ひ棉電流沒せる爲め被害甚だしく通州棉業の調査報告によれば南通、海門沿海一帶の棉田は被害最も甚だしく全然收獲の見込みなく內地及び海塘より比較的遠き地方は三四分作の望あり土地の最も高き處は或は四五分の收獲あるべく然も此等の地方は極めて少數なりと

●棉花攙水禁止布告

上海縣知事は棉花檢查局長沈惟燿の呈稱により棉花に水をかけ又た石膏棉等を加へ重量の增加を計ることは外人の信用を失するを以て斷じて之を禁止す若し違反する者あらば發見次第處罰すとの布告を發せり

●平和博に支那生產物品歡迎

上海總商會は上海日本總領事より日本は明年三月十日東京上野公園に平和紀念博覽會を開催するに就き貴會が生產物品を徵選して出品さるれば歡迎する所なりとの通知を受け各業董に此の旨を通告したり

●太平洋問題研究公開建議

▲學生總會に發起を求む▼

上海工商友誼會太平洋問題に就き中華學生總會各團體を召集し共同討論することを發起せんことを求めの如き書面を寄したり

前に貴會の太平洋會議に對する意見及び陳ぶる所の條件を讀み敝會は非常に贊成す然るに近來上海新組織の太平洋會議討論會は乃ち公開式の討論にあらず進んで之を言へば即ち貴族式資本式官僚式の包辦する所の太平洋會議にして平民とは毫も關係無し夫目今中華國民が外人の痛苦を受ける所の者は乃ち平民のみ資本家と官僚にあらざるなり且つ該會は尙ほ國民の公意採取の名義を假借し極大の廣告をなし國民の意見を發表せずして對內對外の文電は已に發せるもの鮮からず知らず上海は團體兼多にして明達の士も亦た少からず此生死存亡の太平洋會議に對して豈に能く少數人の包辦を容さんや貴會は平民團體の有力なる者なり速かに各團體を邀集し聯席會議を開きて討論し平民も少た意見を發表するを得共に研究に資し民意を發揚せしめられんことを請ふ敝會は此の事は關係重大にして公開討論するにあらざれば不可なるを以て爰に誠懇の意を以て貴會に採納を請求す速かに實行されたし云々

●安福系秘密會議說

上海軍事機關の消息によれば安福系の首領徐樹錚方樞王揖唐等は今まで又た上海に來り某租界內にあり同系を召集して秘密會議をなしつゝあるが第三政府組織の說あり並びに黎元洪を推して主裁せしめんすとのことなるが事實如何は不明なるも調查員を派して切實に調查せしめ居れり尙ほ共同租界の工部局は徐樹錚に對し租界內にあらば警察は直ちに逮捕すとの通告を發したり

●德華銀行恢復準備

獨支兩國邦交恢復後德華銀行營業問題は屢次同行代表と財政部と磋商したるが聞く所によれば伯林本店の代表は已に上海に著し江西路五十一號に通信處を設け馬元爲替等の事業を經營しつゝあり復業問題に對しても積極的に進行を計り居れば二ケ月內には營業の開始を見るべしと云ふ

●獨逸染料の輸入

獨逸染料は支那市場に名聲を馳せ居れるが歐洲戰爭發生後獨逸染料の輸入無く英國のアニン染料が其の價の嫌ありたるが今や獨逸染料高の支那に於ける發展は漸次戰前の狀態に恢復し本年一月以降獨逸染料の上海へ輸入されたる額は海關兩五萬六千余兩に達せり

●太平洋會議と總商會

上海總商會は特派勸辦實業專使より此次の太平洋會議は軍備制限を號稱するも要するに其の根本主義は實に英米日の極東に於ける利害衝突を排除或は調解するにあり尤も經濟方面を以て其の精神の集注する所となり近日共同監督の說謠傳さるが個人の唱道なりと雖も然も官現するを否とは全く我の自誡にありて支那の經濟發達の障礙を排除し國力を伸展せしむべきことに就き支那代表の參考にするが爲め意見を報告すべしと電報に接せり

▲告武力解決者（中華新報）（九七）吾人が平和解決を望む原因は南北雙方共に武力解決不可能なるが爲めなり、而して太平洋會議は支那に對して一種の機會と同時に一種の危險を供ふものなれば北際に於て政治的新中心を作らんとするに在り、然るに今や吾人は失望せり、孫文は代表を否認し北伐を云ひ、吳佩孚は國民會議を發表せず、非方は寧ろ主戰主義に傾く、十一月に開かるべき太平洋會議に於て、今日の共同監政の論を招かしむべし今日の有權者は祖先數千年の基業を斷ちて子孫數代の禍根を貽すか、餘りに痛念ならずや吾人は沸を煮て深く之を哀む

▲南北大勢（新聞報）（同上）宣言は又戰爭起り廣東は北伐軍を出すと報ず、南北の大戰は免るべからざるか、太平洋會議は破產ある此際南北軍人は互に戰端を開くや何の心ぞや、人民の苦は鎭めざるか噫

▲戰禍と政客（新申報）（同上）戰禍と黨爭は互に患を爲すものにして而も已む望なし國事の壞敗遂に救拾すべからざるに至る、吁痛むべきなり

▲三億万元（新聞報）（九、一〇）兩湖戰事損失三億萬とは外人の調查なり、今又四川湖北の戰事在り外人をして再び調查の勞を取らしむるを欲せざるなり

▲試むる而已（申報）（同上）盧山會議と山東交涉は夕立の雨に似たり兩問題共に喧囂するも實は根なく成る能はざるを知りて之を試みる迄のみ

▲吳佩孚（神州日報）（同上）吳佩孚は外廣東に迫まられ內奉天に區まられ更に民意を失し四面楚歌となりしに今又曹錕との內訌ありと何れ其內に決裂せん、一巡閱使を得て其後に禍の眉睫に在るを知らざる吳佩孚は憐むべきなり

▲顏の態度適當（中華新報）（同上）顏總長は山東案を担絕せば日本は太平洋會に於て籍口せん、一切の經過を通電し民意を徵せんとすと云ふ、適當の態度として吾人の贊する所なり、山東問題の如き國論を惹起せしものは殊に其必要あり、吾人は顏氏の速かに實行の舉に出でんことを求むるものなり

▲存亡の關鍵（民國日報）（同上）北京政府にして日本の直接交涉を許せば支那數年折角の運動は台なしとなる、而して國際間に鄙しめらる、公正も援助も無くなる、支那は存在の資格なくなる存亡の關鍵此に在り、人民は尙ほ速かに注意し監視せざるや

合名社會

鈴木商店上海支店

九江路三號

電話 中一八〇三番 中一八〇四番 中一八〇五番 中一八〇六番 中一八〇七番 中一八〇八番 中一八〇九番

本店 神戶市 海岸通十番地

營業主目

一般電氣ニ關スル工事ノ設計及請負監督
一般電氣及工業ノ經營並ニ之ニ對スル資金ノ直接又ハ間接ノ供給及融通
一般工業用機械材料及原料ノ賣買並ニ仲介及代理
一土木建築ノ設計及請負監督
以上各號ニ附帶スル一切ノ業務
一般商品ノ賣買並ニ其仲介及代理

中國工商株式會社

（香港路A六號）

支配人室中一四七三〇
事務所中一二六二〇
社　〃　宅北一一八六八
　　北一一八七六

▲朝鮮總督府賣買局所管▼

●人參精粹

●使用に至便
●携帶に至便

高麗參丸

（大物實）

●本劑は朝鮮人參のエキスに其の粉末を混和調製せり

●其形細粒然も効力頗る强大

事務家、旅行者日常の携帶、使用に良し

大瓶百粒入（六日分）大洋七角
小瓶五十粒入（三日分）大洋四角

▲到る處の有名藥に店販賣す▲

肥料、雜穀、羊毛、羊皮、豚毛、牛骨油脂、タイヤー類、護謨製品、毛糸晒粉、酸類、セロルード板琺瑯製品、縫縫、電氣器具其他

EKC

兒玉貿易商行

上海英租界泗涇路八號

電話中一八〇三番

支店　東京日本橋區通鹽町參番地
同　鹿兒島市洲崎町參番地
同　漢口英租界楊子街廿一號
代理店　內外護謨合資會社楊子江一帶
一手販賣店　南海晒粉株式會社（福印）

●浙江省憲宣布祝賀

浙江省憲は九月九日正式に宣布されるゝことなりたるを以て芝罘路旅滬浙江自治促進會は浙江旅滬各公團及び各縣同郷會と聯合し寧波同郷會に於て八月の三日間夜祝賀會を開く準備をなし居れり

●獨墺人發電制限廢止

何護軍使は北京陸軍部より獨支通商條約成立せるを以て獨墺人の電報發信制限方法は廢止する旨の通告に接せり

●合作銀行の消息

▲上海合作銀行　張鼎臣陸思安等は資産金五十萬元十萬株一株五元にて上海合作銀行の組織を發起し目下株金募集中にて籌備所を佛租界敏體尼陰路二百七十九處に設け居れり

▲國民合作銀行　國民合作儲蓄銀行は試辦年余にして好成績を擧げたるより更に資金を十萬元に增加することゝなり戴天仇に章程を修改せしめ居れるが其の地點は徐家滙にあり上海に移轉すべき經費增加するを以て當分同地にて營業すべしと

●モロンー博士來滬

米國コロンビヤ大學師範院々長モンロー博士は令孃を伴ひ支那教育事業視察の爲め前過日曜日エムロシヤ號にて來滬の豫定なりと云て江蘇教育會方面は全國教育會の同意を徵し博士に支那學制問題の研究を請はんとし並びに郭秉文等六人に招待事宜を担任せしめ北京教育界は北高教授王文培を代表として歡迎の爲め當地に派せるが博士は日本教育界の講演を請へる爲め來滬遲れ本日午前十時コリヤ丸にて來滬の筈なり省教育界は失ゞ歡迎茶話會を開き水曜日或は金曜日一品香に於て各團體合同にて一大宴會を開くべし

●支那勞働者に奬章

北京國務院僑工事務局は歐洲戰爭中佛國に於て戰爭に功勞ありた華工に佛國政府は佛國戰事紀念奬章を頒給することゝなりたるを以て民國十一年一月一日以前已に歸國せる勞働者は其の姓名番號及び作業地點歸國期等を詳細に報告すべし但し曾つて法に違ひ及び事故に因りて送還されたる者は奬章を領取するを得ずと布告せり

●露國難民の調査

江蘇交涉公署は北京外交部より國際聯盟會は露國難民安置大會を組織し支那にも加入を勸告し來りたるを以て左の諸項を調査報告すべしとの訓電に接し上海俄僑通商事務所滬滙警察廳、上海、資山兩縣知事に之が調査を求めたり

一、各省難民の數（二）此等難民の生活職業の有無（三）各地方に安置及び善後辦法の有無（四）此等の救濟に特別組織の有無、每年の經費若干

●生絲輸出減少

上海洋莊の生絲輸出は每年五六七の數ヶ月が最も旺盛なるが絲繭總公所の調査によれば六月の最も盛大なる月の生絲の輸出は二千七百五十一包に過ぎず其の他數ヶ月は均しく二千包に及ばず其の原因は一は各地產額の減少と二は日本生絲の競爭の影響なりと

●米國の新三會社

最近上海に米國の三會社成立せり一は加奈陀亞米利加煙草會社にて資本金三萬兩三百株に分ち一は中國實業公司にて證券抵當貸等を營み支那人の董事一人あり資本金十萬元にて二千株に分ち一は東方技藝公司にて輸出入業を營み資本金五萬元にて五百株に分てるものなり

●糧食維持會の申請

糧食維持會は米價大た騰貴して十一元を超過し官廳及び公所の議定せる十一元の價格制限に違背せるを以て昨日代表者を擧げ上海縣知事及び會審衙門關裁判長に面會し米業董事に對し禁令の實行を申付けん事を求めたり

●江蘇省議會召集近し

江蘇省議會第三期議員改選を終り王省長は十月一日召集し正副議長を選擧又た新たに設けらるゝ省參事會も開會後產出さるゝことゝなりたるより江蘇省政治界は漸やく活氣を呈し來れり

●普利儲金會不許可

上海人鳳翁園等は上海普利儲金會を組織し江蘇實業廳に許可を出願せるが同會は資本金僅か四千元其の他不充分の點少からざるを以て却下したり

金融市況

上海の金融及外國爲替

（阜年九月二日　至年九月八日）

◎金融　輸出入貿易皆低落金需要少し金融依然閑散金利八分見當を唱ふ銀動左の如し

輸入
南京ゟ杭州ゟ　二十七萬弗
二十萬弗
二百六十二萬兩銀塊
米國ゟ
南京ゟ
杭州ゟ
福州ゟ
蘇州ゟ
十七萬五千兩　銀塊
香港ゟ
大阪ゟ

輸出
三十四萬兩
十萬兩
四萬弗
六萬兩　銀塊

◎爲替　銀塊は依然として印度バザー筋の買によりて支持せる銀の强含みに連れ當地相場も日々强氣配を續けたり本週中の銀塊及爲替相場左の如し

◎本週中銀塊及爲替相場

月日	銀塊 相場	倫敦 尚電信	紐育 尚電信	日本向 電信
九月二日	37¾	3/7	67	72¾
〃 三日	38¼	〃	〃	72¼
〃 五日	〃	〃	66¾	72¼
〃 六日	38⅞	〃	66¾	72⅜
〃 七日	39⅛	3/8	67¾	70½
〃 八日	38¾	〃	68	71

◎外國銀行在銀現在高

八月卅一日（水）　銀塊　二六、八〇〇、〇〇〇兩
墨銀　三七、〇六〇、〇〇〇弗
銀塊　三、〇六〇、〇〇〇弗

八月廿五日（水）　銀塊　二六、一〇〇、〇〇〇兩
墨銀　三七、三四〇、〇〇〇弗
銀塊　—ナシ

前週中郵便局圓銀相場（金雲圓に付）

月日	墨銀	圓銀
九月三日（土）	〇、九七八〇	一、〇一五一
〃 四日（日）	—	—
〃 五日（月）	〇、九七七〇	一、〇一七三
〃 六日（火）	〇、九七八〇	一、〇一五一
〃 七日（水）	〇、九七八〇	—
〃 八日（木）	〇、九八七〇	—
九月八日（木）	〇、九八七〇	—
〃 九日（金）	〇、九八七〇	—

編輯餘張

▼盧山會議には研究系が一生懸命になつて居ることは明白である、最初梁啓超が吳佩孚に手紙を送つて口說ひたるのでも判かるが、熊希齡の策動なるが大に運動したものである

▼張謇曾が言ひ出して、蔣方震張一麐が南下して、第一江蘇商會に贊成を出さしめたるが、江蘇督軍は憲好く彼等を撥れたらしい、又研究系と舊交通系は黎元洪を擁して、徐世昌を退けん魂胆があると云はれて居る、新內閣乘取策も誘ぎられてるらしい

▼舊交通系は時代から買辦の親方で外信引受けで力を致したものである、研究系は袁時代國民黨撲滅に御用を立て、更らに第一段內閣の時も國民黨撲滅に從事し、段から撥れられた爲め徐世昌に鞍替へし、山東問題で安直戰爭を起さしめて仇を打ち、更らに過激派思想を鼓吹したものである、實に支那政客中一番質ちの惡いものは研究系で、舊交通系は買辦として歐米人に取入るものである、二者支那の攪亂者で、孫文の攪亂と違い、陰險な共にので人望更らにない

▼孫文派を稱するのではないが此等は矢張り國を攪亂する意味に於て決して許容されない、太平洋會議代表問題に就き、北京政府を否認したり、外國に宣言したりして居るのは、全く國を見蔑にしてるものである、何んと云つても北京政府は國際間の認めた政府である、孫文等の政府は日除者である、トテも比較にはならぬ、太平洋會議は眉睫の間に在り、愈支那が太平洋會議で饒舌べる晴れがゞしないのなドウする

▼何しろ萬惡の茶を爲す政客が何時迄荒れ廻はるかは問題であるが、太平洋會議は政客が今日迄、外人を欺むいて來た最後となりはせないか、何となれば軍閥々々と云つて外人を欺き、否な外人は欺かれた振りして日本の牽制策を取つて來たけれども、太平洋會議後は政客閥と云つて攻擊することになられねばならぬからである

▼換言すれば愈支那に對する外人の要求が度を深ふするに從ひ、一番障害になるものは、軍閥よりも寧ろ政客連に在るからである、此に於て平太平洋會議後の支那は、一の分水嶺になるだらう、軍閥を攻擊した罰を政客が受けねばならぬ罰期を作るのであろう

THE KAMIYA TRADING Co., Ltd.

KMY

上海泗涇路九號

神谷商事株式會社上海支店

電話中三八七五

本店　東京市日本橋區本石町三丁目

支店　大阪、神戶、名古屋、上海、漢口

營業種目　棉花、棉糸布、雜穀肥料、製油原料、砂糖、機械、雜貨、陶器

▲資本金　壹千萬圓

▲本店　北京

▲上海支店　江西路南京路北入

爲替取組先　東京、大阪、横濱、神戶、門司、長崎、京城、奉天、大連、北京、天津、青島、漢口、九江、福州、門廈、港香、新嘉坡、孟買、倫敦、紐育、其他支那各地

中華滙業銀行

電話（支配人席）中一九四六
番號（一般營業部）中一九四一

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務精々勉强可仕候待御引立の程奉願上候

EI-KWA & CO.

EK

瀛華洋行

上海福州路十叁號
電話中央一三〇九

取扱　雜穀肥料製油原料
商品　其他一般輸出業

出張所　神戶、漢口、蕪湖、沙市、宜昌

OZU-BURIN & Co.

B

武林洋行

上海漢口路九號
電話中央（一三五七）（四二四六）

本店　大阪

支店及出張所　東京、横濱、神戶、漢口、沙市、宜昌、萬縣、重慶、大連、樊城、老河口、鄭州

營業種目　棉花、綿糸布、絹紡原料、雜穀、肥料、油臘、毛皮革、其他支那天產物等

小津武林起業株式會社上海支店

社會株式績紡華東

號九A路口漢海上　事務所
號八路德華海上　工場
番四五三東話電

營業科目

海運業
船舶代理
并賣買仲立
一般輸出入

上海江西路五號
合資會社 申亨洋行
電話開三〇〇九

社會株式織紡華日

號五五路川四海上＝所務事
電話 中九五二四九 中九四二四九
東浦＝場工
電話 中八一九五 中五七一九
場工築建路生物勞
電話 七六九一四

東亞聯絡最捷交通線

○大連長春間普通列車
大連發（前一〇、三〇—翌前六、二〇）（後一〇、四〇—翌後五、三〇）長春着
長春發（前一一、四〇—翌前六、四〇）（後一〇、〇〇—翌後六、〇〇）大連着

○大連開原間普通列車
大連發前八、二〇—後一一、〇〇 開原着
開原發前八、〇〇—後一一、〇〇 大連着

○大石橋長春間普通列車
大石橋發前七、四五—後九、二五 長春着
長春發前七、三〇—後九、〇〇 大石橋着

○奉天安東間普通列車
奉天發（前八、三〇—後四、四〇）（後九、一〇—前五、一〇）安奉着
安東發（前一一、二〇—後七、一〇）（後九、五〇—前六、〇〇）奉天着

○大連長春間急行列車
大連發後一〇、〇〇—翌後一、〇〇 長春着
長春發後五、〇〇—翌前八、〇〇 大連着

○滿鮮直通列車（釜山奉天間）
釜山發（前一一、二〇）（後一〇、二〇）安東着（翌前一〇、二〇）（翌後八、五〇）奉天着（後七、一〇）（翌前六、〇〇）
奉天發（後八、三〇）（後九、二〇）安東着（後四、四〇）（翌前五、一〇）釜山着（後六、四五）（翌前五、五〇）

○鐵道旅館
滿洲線 大和ホテル
大連、星ヶ浦、旅順、奉天、長春
朝鮮線
京城、新義洲、釜山
（設備歐米式食物精選）

○大連上海航路
御用船 柳丸 長谷丸 三、八七六屯（船内無線電信設備アリ）
往復共青島ニ寄港ス

○營業種目
鐵道業、船舶業、港灣業、鑛山業、工業、製鐵業、電氣業、瓦斯業、旅館業

南滿洲鐵道株式會社

本社大連市東公園町
支社東京市麹町區有樂町
支店及出張所、紐育、上海、北京、哈爾賓、吉林
振替貯金大連（二一九番）
電報略號（マンテツ）

營業科目
化學用玻璃器、醫藥用瓶其他、玻璃料器一切製造販賣
其他一般輸出入業

十海廣東路三十六號
電話三八九二番
北福洋行

文路壹號
山口商店
電話北四五九

營業科目
浙江產螢石採掘販賣
一般輸出入業
上海四川路A百二十八號
辛酉公司
「シヤツトル」製造販賣
中和工廠事務所
電話中三二三二
工場 上海戈登路千三百十五號
電話西一八二七

●和洋家具類
●室內裝飾品類
●書畫骨董類
●諸物貨賣買仲次
●電機器具及工事
右十數年の經驗自信に依り大方の貴需に應ず
上海閔行路廿一及廿二號
上海便利社

國產奬勵
●敷島 貳弗拾三仙（四百本）二十本 拾三仙
●朝日 （四百本）二十本 奇弗八拾五仙 拾仙
●白梅 四〇匁入 八拾四仙
●サシキ 四〇匁入 六拾五仙
●アヤメ 四〇匁入 五拾六仙
●ライトハウス（五百本）二十本 壹弗七拾三仙 銀貨拾仙

特約店
東亞煙公司
電話北一〇五二番
松尾洋行
電話北三〇五三番
山口商店
電話北四五九番

本紙定價（前金）
一部 金十五錢 支那 金二十錢
一ヶ月（四部）金六十錢 日本 金八十錢
一年（廿六部）三弗三十錢（郵税共）金四圓五十錢
一年（五十部）金六圓（郵税共）金八圓

廣告料
本紙掲載廣告の料金は行數の多少掲載期間の長短に依り特に御相談可致候間御用の方は端書又は（發送北二八五七）にて御一報被下度候

發行人兼編輯 上海崑山路A八號 西本省三 電話北二八五七
印刷人 上海崑山路一〇二號 蘆澤多美次 電話北一三〇三
發行所 上海崑山路A八號 春申社 電話北二八五七
振替口座滬閥四七〇五番